

# 2020年度 決算説明会

2021年5月7日

**ブラザー工業株式会社**

**代表取締役社長 佐々木 一郎**

当資料に掲載されている情報のうち歴史的事実以外のものは、発表時点で入手可能な情報に基づく当社の経営陣の判断による将来の業績に関する見通しであり、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績は、経済動向、為替レート、市場需要、税制や諸制度等に関するさまざまなリスクや不確実要素により大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。

- 業績ハイライト
- 2020年度 通期業績
- 2020年度 事業別振り返り
- 2021年度 業績予想
- 株主還元
- 補足資料
  - ・ 2020年度 第4四半期（1－3月期）業績
  - ・ 財務の状況/キャッシュフロー/  
設備投資/償却費/研究開発費
  - ・ セグメント業績概要

## 業績ハイライト

事業セグメント利益は過去最高を更新するも、  
のれんの一部について減損損失を計上したことにより  
営業利益以下は大幅減益となる

## ◆ 売上収益 6,318億円/▲0.9%（前年比）

- ✓ P&S事業は、供給制約による影響で販売台数減も、売上は前年度並みを維持
- ✓ P&H事業は、巣ごもり消費・副業用途での家庭用ミシンの需要の高まりを受け、大幅増収

## ◆ 事業セグメント利益 781億円/ +16.6%

- ✓ P&S事業は、販促費の抑制の効果もあり、増益
- ✓ P&H事業は、強い需要による売上増により、大幅増益
- ✓ N&C事業は、店舗事業の売上・カラオケ機器販売の落ち込みにより、大幅赤字
- ✓ マシナリー事業（産業機器）は、中国向けの自動車・一般機械向け売上回復により、大幅増益

## ◆ 営業利益 427億円/▲36.5%

- ✓ 主にドミノ事業で のれんの一部について減損損失を計上したことなどにより大幅減益

## ◆ 親会社当期利益 245億円/▲50.5%

## 2021年度 通期業績予想

- ・主にP&S事業におけるグローバルサプライチェーンの混乱などによる影響をリスク要因として織り込み、売上は減収、事業セグメント利益は減益を見込む
- ・営業利益以下については、2020年度に発生した特殊要因がなくなることにより増益を見込む

## 株主還元

- ・2020年度の1株当たり年間配当は60円とする（2019年度と同額）
- ・2021年度の1株当たり年間配当は60円を予定

## 2020年度 通期業績

# 2020年度通期 連結業績概要



事業セグメント利益は大幅増益（過去最高益）も  
ドミノ事業でのれんの一部について減損損失を計上したことにより、  
営業利益以下は大幅減益となる

単位：億円

	19年度	20年度	増減	増減率 ( ) は為替影響 除く増減率
売上収益	6,373	<b>6,318</b>	-54	-0.9% (+0.3%)
事業セグメント利益	669	<b>781</b>	111	16.6%
事業セグメント利益率	10.5%	<b>12.4%</b>		
その他の収益・費用	4	<b>-353</b>	-357	
営業利益	673	<b>427</b>	-246	-36.5%
営業利益率	10.6%	<b>6.8%</b>		
税引前利益	670	<b>429</b>	-241	-36.0%
親会社の所有者に帰属する当期利益	496	<b>245</b>	-250	-50.5%
USD	109.10	<b>106.17</b>		
EUR	121.14	<b>123.73</b>		

ドミノ事業におけるのれんの一部の減損損失、P&S事業・N&C事業において、一時費用を計上したことにより営業利益は大幅な減益となる

事業	内容	影響額（営業利益）
ドミノ	のれんの一部についての減損損失 （新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、今後の事業計画を慎重に見直し）	272億円
P&S	製造拠点再編に伴う一時的費用の発生	43億円
N&C	店舗事業の採算性悪化に伴う資産の減損損失	29億円



# 2020年度通期 事業セグメント別実績



単位：億円

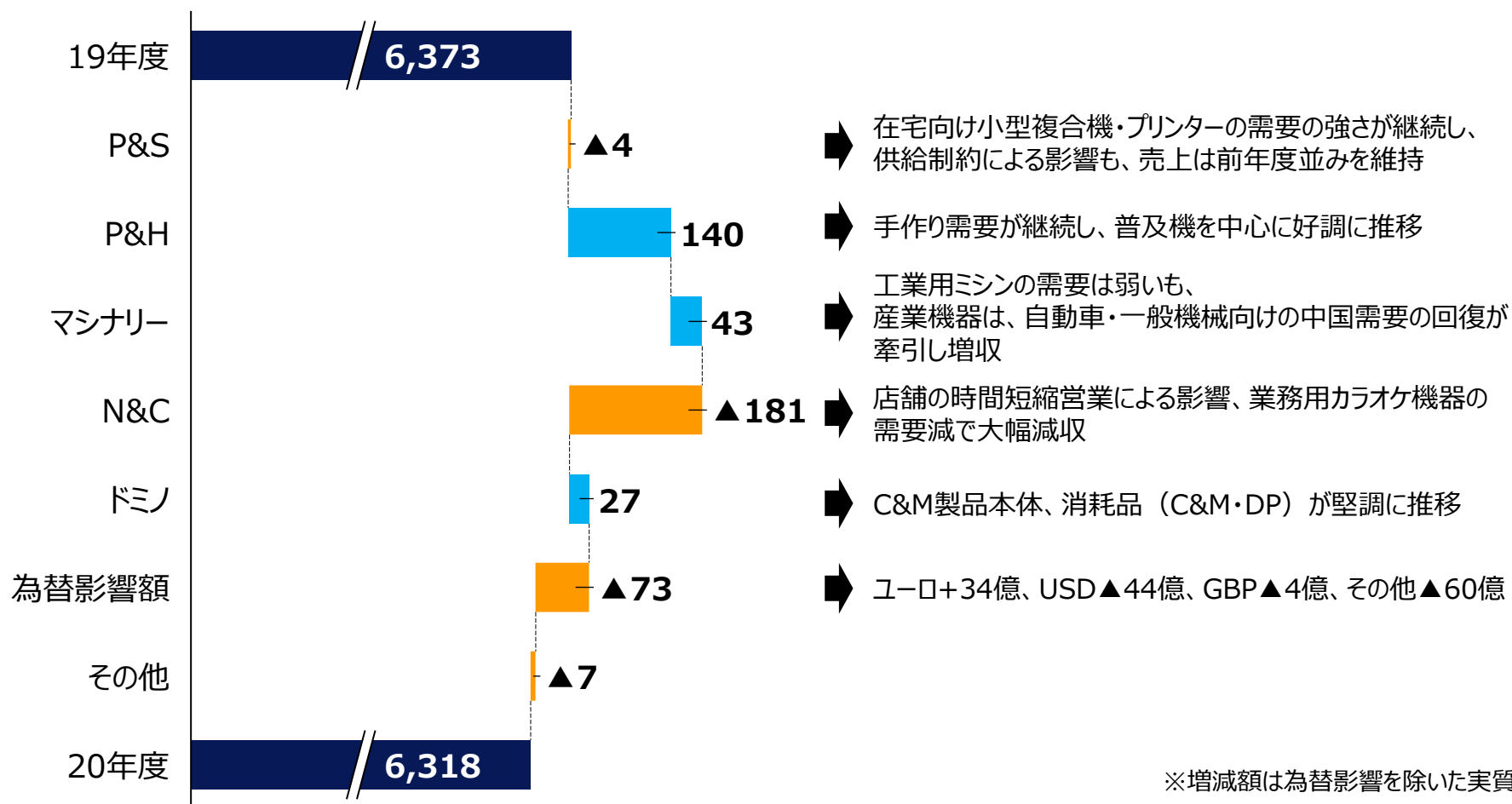
		19年度	20年度	増減
プリンティング&ソリューションズ	売上収益	3,907	3,848	-59
	事業セグメント利益	571	652	80
	営業利益	571	610	39
パーソナル&ホーム	売上収益	409	537	128
	事業セグメント利益	31	98	67
	営業利益	32	96	65
マシナリー	売上収益	748	789	41
	事業セグメント利益	7	41	34
	営業利益	6	33	27
ネットワーク&コンテンツ	売上収益	491	310	-181
	事業セグメント利益	21	-52	-72
	営業利益	19	-73	-92
ドミノ	売上収益	675	698	23
	事業セグメント利益	38	48	10
	営業利益	39	-239	-279
その他	売上収益	142	136	-7
	事業セグメント利益	4	-5	-9
	営業利益	9	2	-7
合計	売上収益	6,373	6,318	-54
	事業セグメント利益	669	781	111
	営業利益	673	427	-246

※セグメント間取引消去額は含めておりません。

# 2020年度通期 売上収益の増減要因

N&Cの大幅減収を、好調なP&H、マシナリー事業が補うも、  
為替のマイナス影響もあり、全社としては減収となる

単位：億円

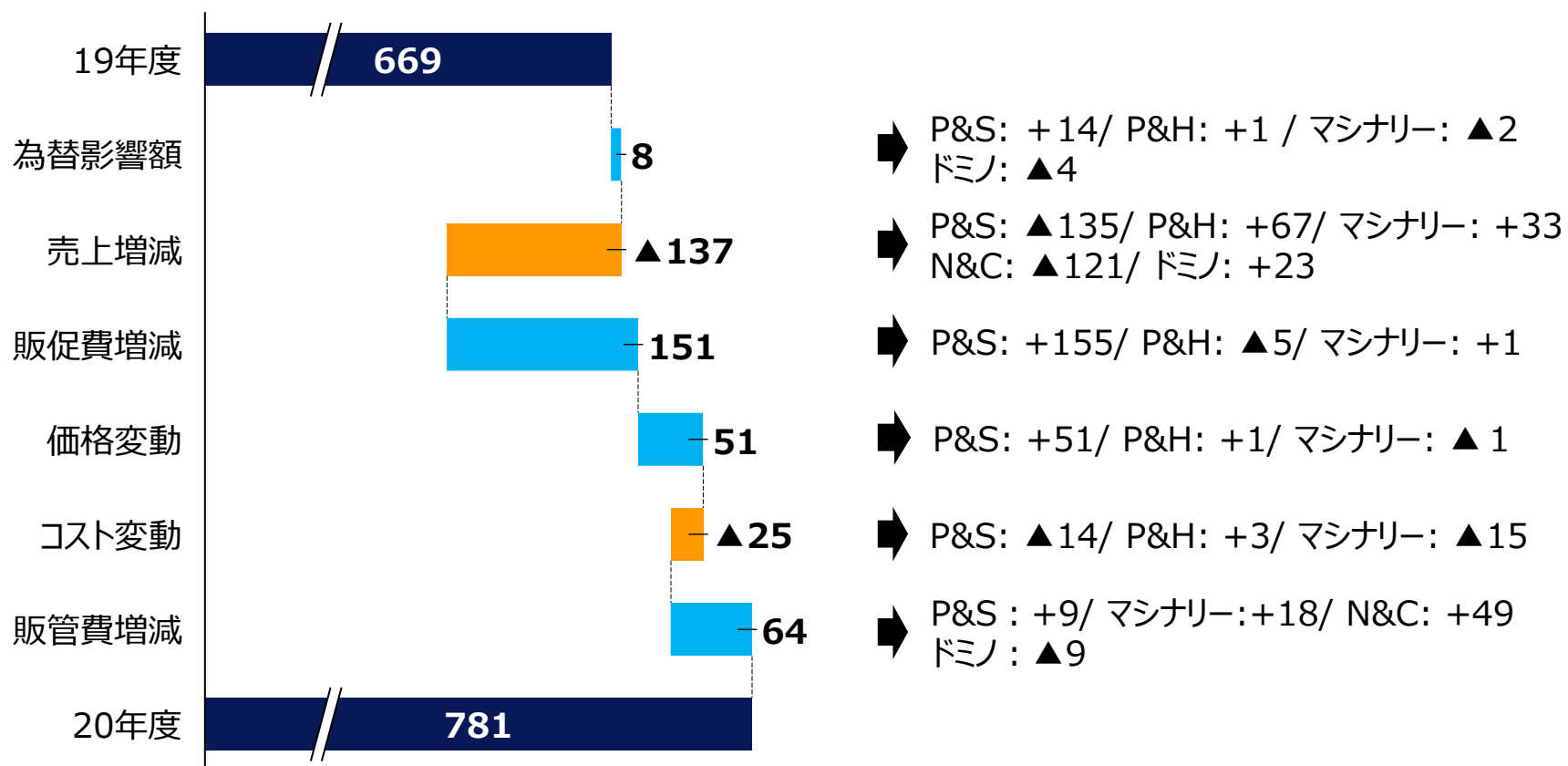


※増減額は為替影響を除いた実質ベース

# 2020年度通期 事業セグメント利益の増減要因

主にP&H事業、マシナリー事業（産業機器）における粗利増に加えて、  
販促費の抑制効果もあり、大幅増益となる

単位：億円



## 2020年度 事業別振り返り

# 新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けた 各事業の環境変化

新型コロナウイルス感染症の世界的流行により、事業環境は大きく変化

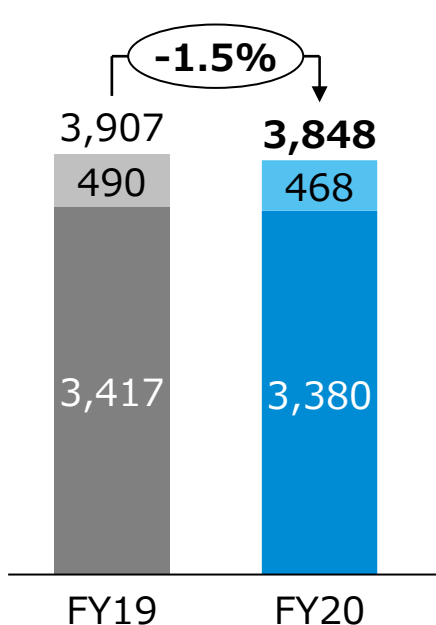
事業	環境変化
P&S	<ul style="list-style-type: none"> <li>・在宅勤務・在宅学習用途として、小型複合機・プリンターの需要増加</li> <li>・在宅勤務などの働き方の多様化によるオフィスでの印刷量低下</li> <li>・生産地での感染拡大による生産・供給の遅延</li> <li>・宅配需要の拡大によるラベル印刷需要の増加</li> </ul>
P&H	<ul style="list-style-type: none"> <li>・巣ごもり消費により自宅で手芸などを楽しむ人が増え、家庭用ミシン特需が発生</li> </ul>
マシナリー	<ul style="list-style-type: none"> <li>・工業用ミシン：(ISM*<sup>1</sup>)顧客である縫製工場の稼働率低下を受けた設備投資需要の低迷 (GT*<sup>2</sup>)米国を中心に需要拡大が継続</li> <li>・産業機器：中国の自動車・一般機械向け中心に全地域で受注は回復傾向</li> <li>・工業用部品：製造業全般の設備投資抑制の動きがあったものの、自動化/省人化ニーズの高まりを受け、需要は回復傾向</li> </ul>
N&C	<ul style="list-style-type: none"> <li>・店舗の休業や時間短縮営業の影響などにより、カラオケ利用者が大幅に減少</li> </ul>
ドミノ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・設備投資の抑制傾向が続き、デジタル印刷機本体の需要は低迷</li> </ul>

\*1：Industrial sewing machine（工業用ミシン）の略 \*2：Garment Printer（ガーメントプリンター）の略

単位：億円

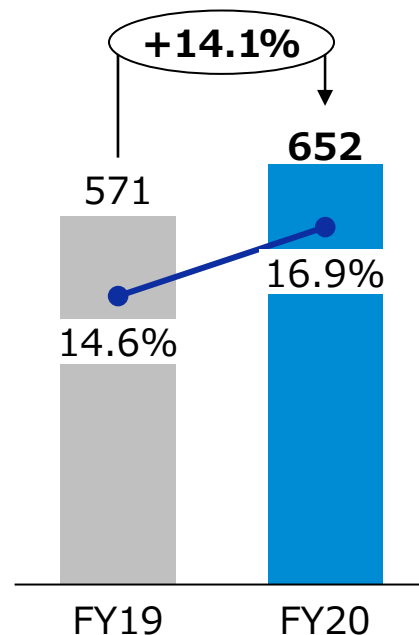
## 売上収益

- 電子文具
- 通信・プリンティング



## 事業セグメント利益

● 利益率



## 2020年度の振り返りと今後に向けて

- 在宅勤務などの働き方の変化により本体の需要が年間を通して継続も、オフィスでの印刷量は低下
- 工場の操業停止や部品不足の影響などにより、供給に制約が発生
- 生産効率向上のため、工場の拠点再編を決定  
一方、消耗品を複数拠点で生産・供給できる体制の整備を開始
- ラベル印刷需要の増加に合わせ、バーコードプリンターなどの製品ラインアップを拡充
- 販売促進費などの抑制により、増益



- **在宅勤務の定着やオフィスにおける印刷分散化ニーズを的確に捉え、事業規模の維持・拡大を目指す**
- **電子文具は、特殊業務用途向けビジネスの製品ラインアップの拡充によりソリューション提案力のさらなる強化を目指す**



モノクロレーザー複合機



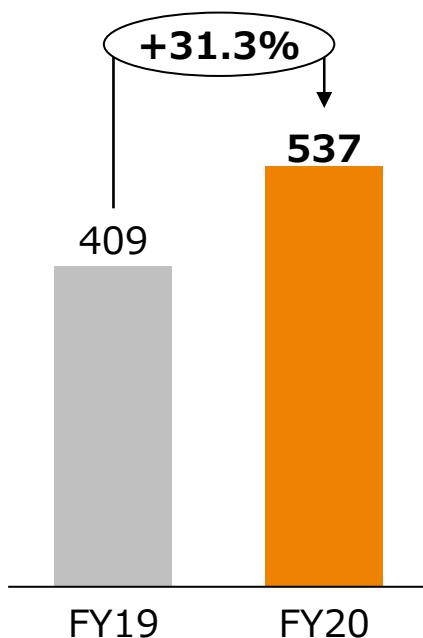
インクジェット複合機



ラベルプリンター

単位：億円

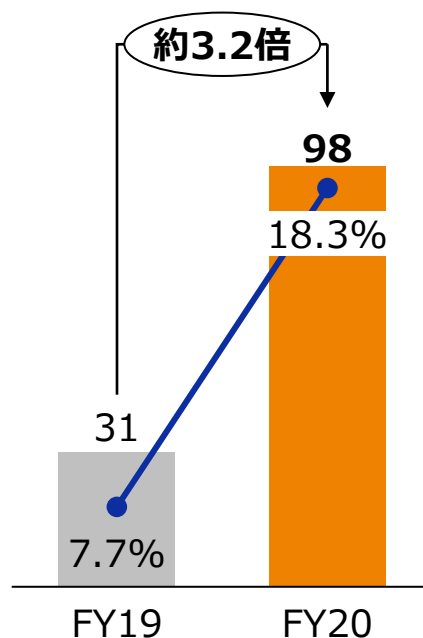
## 売上収益



刺しゅうマシン

## 事業セグメント利益

● 利益率



カッティングマシン

## 2020年度の振り返りと今後に向けて

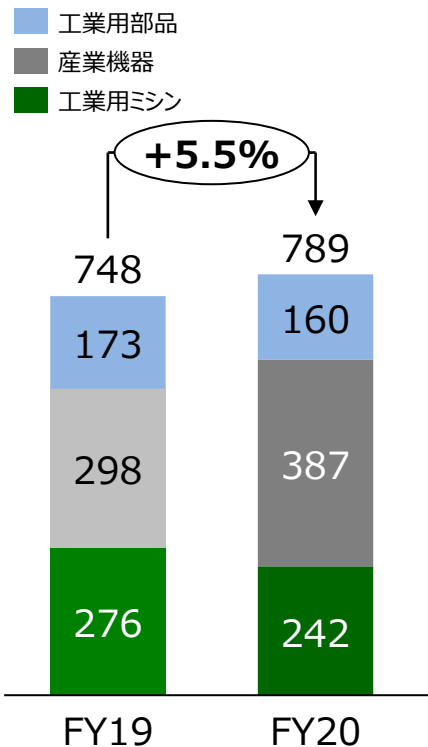
- 巣ごもり消費により自宅で手芸を楽しむ人が増え普及価格帯中心に家庭用マシンの販売が好調
- 欧米では、副業用途の中高級刺しゅう機の需要も拡大
- 対面での営業活動は制限されたものの、オンラインイベントやウェブサイトでのバーチャルショールームなどを積極的に活用
- 家庭用マシンの販売が好調に推移したことにより過去最高益を達成



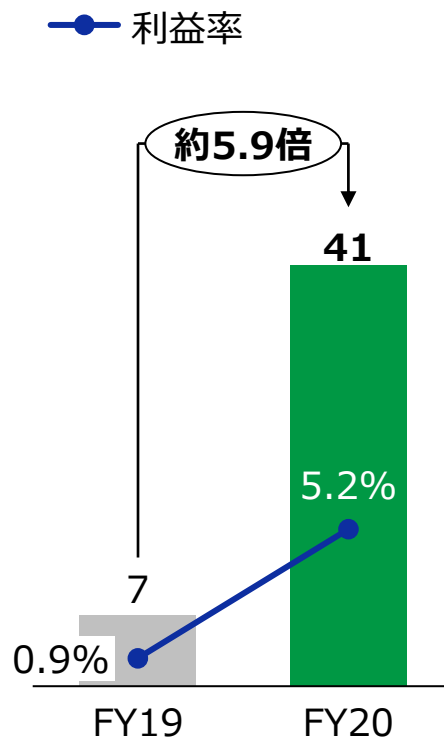
- **オンラインを活用した営業活動の強化や中高級刺しゅう機の販売拡大を進め、顧客基盤の維持・拡大を目指す**

単位：億円

## 売上収益



## 事業セグメント利益



## 2020年度の振り返りと今後に向けて

- 工業用マシン：  
(ISM)設備投資抑制の影響を受け、売上は減少  
事業環境悪化を受け、生産体制の見直しを実施  
(GT)大容量インク対応の新製品で、新たな需要の  
取り込みに成功
- 産業機器：特に中国の自動車・一般機械向け受  
注が回復。需要の増加に備えた製造子会社の増築  
が完了
- 工業用部品：ロボット・FA\*市場向け需要が拡大



## 設備投資需要の回復を的確に捉え、事業規模拡大を目指す

- 工業用マシン：(ISM)ノンアパレル市場での販売拡大  
(GT)大量印刷用途向けでのプレゼンス向上
- 産業機器：自動車・一般機械向けの顧客基盤の拡大
- 工業用部品：ロボット・FA市場での売上拡大

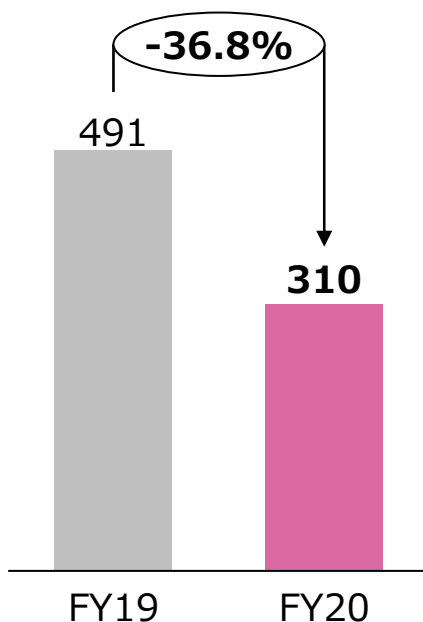


\* : Factory Automationの略



単位：億円

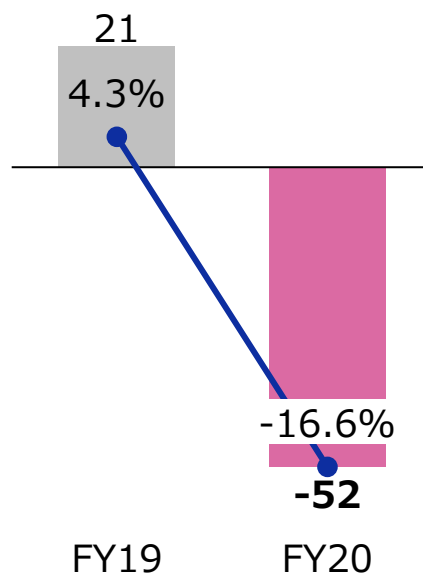
## 売上収益



カラオケ機器

## 事業セグメント利益

● 利益率



キョクナビ

カラオケアプリ

## 2020年度の振り返りと今後に向けて

- 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、カラオケ利用者数が大幅に減少し、業績が低迷
- カラオケを安心して利用できる環境づくりに注力
- 収益悪化に伴い、不採算店舗を閉店  
(店舗数 2020年3月末：124店  
2021年3月末：89店)

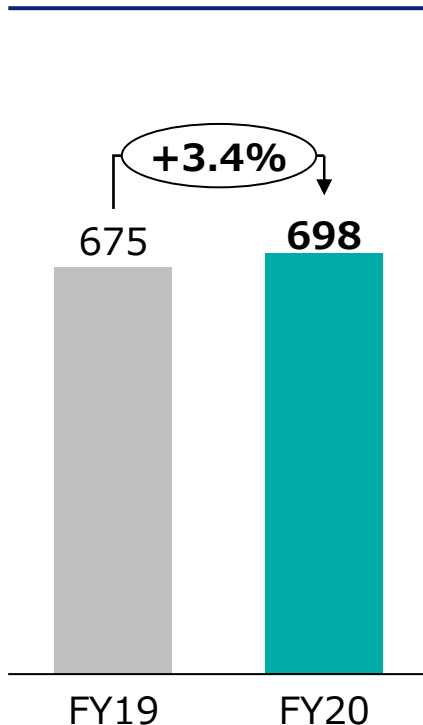
※店舗の資産の減損損失29億円を計上  
(営業損益に影響)



- 安心してカラオケを楽しめる店舗環境づくりや、音楽をはじめとするエンタテインメント業界との連携による魅力的なコンテンツ開発に注力することで、収益力改善のための事業運営を徹底する

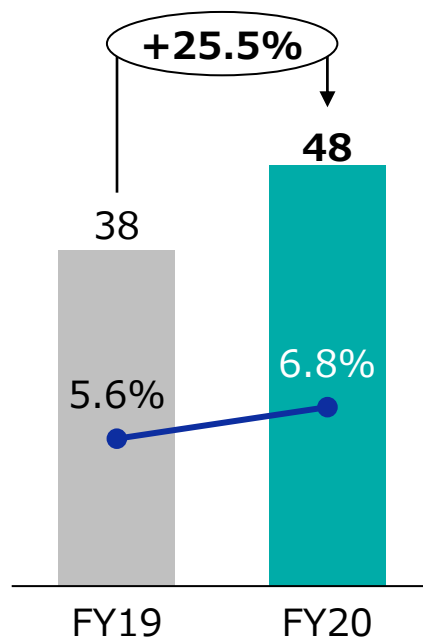
単位：億円

## 売上収益



## 事業セグメント利益

● 利益率



## 2020年度の振り返りと今後に向けて

- C&M本体は、一時は欧州中心にロックダウンの影響を受けたものの、食品・飲料・医薬品などの生活必需品の需要の底堅さに支えられ、堅調
- DP本体は、営業活動の制限により低迷
- C&M、DPともに消耗品は堅調

※のれんの一部について減損損失272億円を計上（営業損益に影響）



- C&M、DP分野での製品の拡販とサービス・ソリューション強化により、売上成長と収益性の改善を目指す



コーディング・マーキング機器  
(C&M)



デジタル印刷機  
(DP)

## 2021年度 通期業績予想

# 2021年度通期 連結業績予想



主にP&S事業におけるグローバルサプライチェーンの混乱による影響などを通期業績予想に織り込み、売上収益は減収、事業セグメント利益は減益を見込む

単位：億円

	20年度	21年度 予想	増減	増減率
売上収益	6,318	<b>6,260</b>	-58	-0.9%
事業セグメント利益	781	<b>600</b>	-181	-23.2%
事業セグメント利益率	12.4%	<b>9.6%</b>		
その他の収益・費用	-353	<b>0</b>	353	
営業利益	427	<b>600</b>	173	40.4%
営業利益率	6.8%	<b>9.6%</b>		
税引前利益	429	<b>595</b>	166	38.6%
親会社の所有者に帰属する当期利益	245	<b>425</b>	180	73.3%
USD	106.17	<b>103.00</b>		
EUR	123.73	<b>125.00</b>		

# 2021年度通期 事業セグメント別予想



単位：億円

		20年度実績	21年度予想	増減
プリンティング&ソリューションズ	売上収益	3,848	3,644	-204
	事業セグメント利益	652	435	-217
	営業利益	610	439	-171
パーソナル&ホーム	売上収益	537	460	-77
	事業セグメント利益	98	46	-52
	営業利益	96	47	-49
マシナリー	売上収益	789	912	123
	事業セグメント利益	41	72	31
	営業利益	33	72	39
ネットワーク&コンテンツ	売上収益	310	366	56
	事業セグメント利益	-52	0	52
	営業利益	-73	-1	72
ドミノ	売上収益	698	717	19
	事業セグメント利益	48	40	-8
	営業利益	-239	38	277
その他	売上収益	136	161	25
	事業セグメント利益	-5	7	12
	営業利益	2	5	3
合計	売上収益	6,318	6,260	-58
	事業セグメント利益	781	600	-181
	営業利益	427	600	173

※セグメント間取引消去額は含めておりません。

主にP&S事業における工場が一時稼働停止したことによる生産遅れ、グローバルサプライチェーンの混乱による影響を通期業績予想に織り込む

事業	前提条件
P&S	<ul style="list-style-type: none"> <li>・在宅向け小型複合機・プリンターの需要の強さは上期まで続く前提も、下期からは一巡する見通し。販促費、販管費は、市場環境の正常化に伴い20年度比で増やしていく計画</li> <li>・生産遅れに伴う消耗品の航空輸送、部材の供給不足による生産遅れや工場の稼働率低下、部品・材料のコストアップ、海上運賃の上昇などのリスクを織り込む</li> </ul>
P&H	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2020年度のコロナ特需の反動減、部品・材料のコストアップ、海上運賃の上昇などのリスクを織り込む</li> </ul>
マシナリー	<ul style="list-style-type: none"> <li>・部品・材料の供給不足による懸念はあるものの、産業機器での中国の自動車・一般機械向けの需要回復の継続を見込む</li> </ul>
N&C	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2020年度の店舗の減損により固定費は減少。カラオケの安心・安全を徹底し、事業全体の黒字化に向けて取り組みを進める</li> </ul>
ドミノ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ影響による営業活動への制約はあるものの、安定的な推移を見込む</li> </ul>

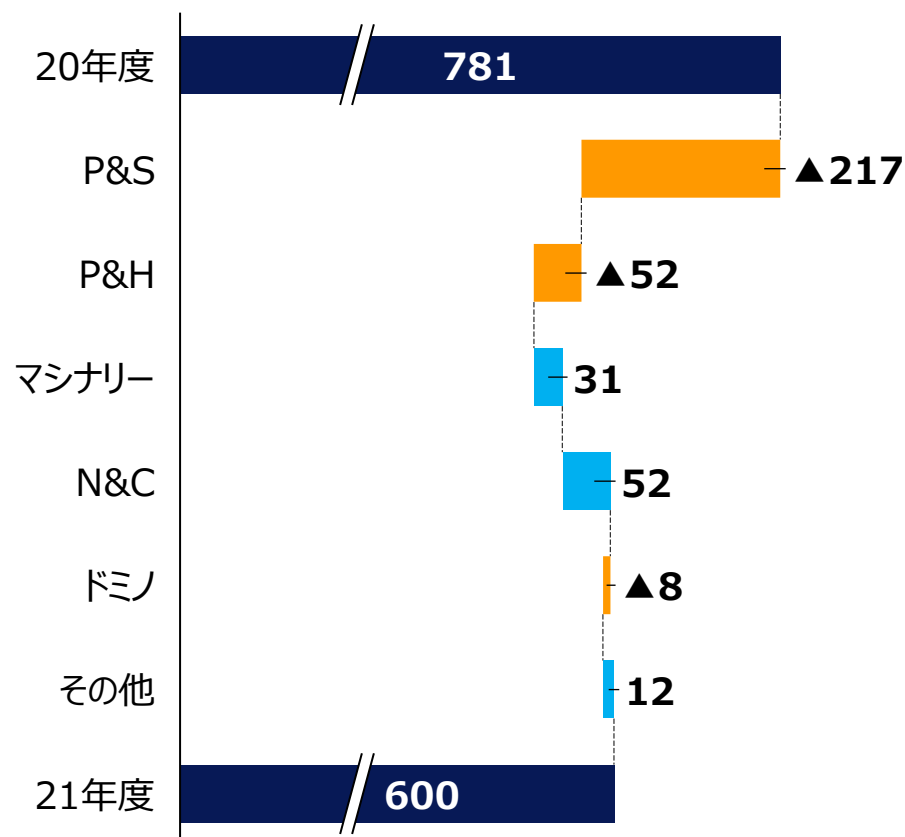
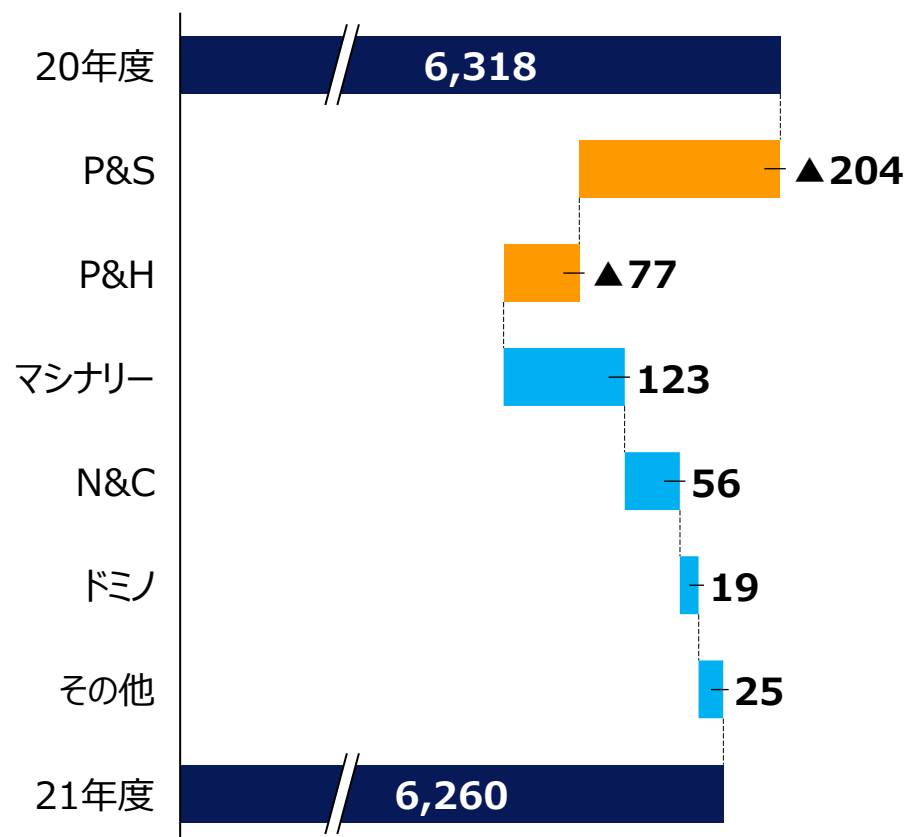
# 2021年度通期 売上収益/事業セグメント利益の増減



## 売上収益の増減

## 事業セグメント利益の増減

単位：億円



## 株主還元



## 連結配当性向35%を目安に還元を実施

著しい業績低迷期をのぞき、1株当たり年間60円を配当の下限水準とする

20年度の1株当たり配当金は年間60円、  
21年度についても年間60円の配当を実施する予定

	中間配当	期末配当	年間配当	連結配当性向
2021年度	30円（予定）	30円（予定）	60円（予定）	36.7%
2020年度	27円	33円	60円	63.6%
2019年度	30円	30円	60円	31.4%
2018年度	30円	30円	60円	28.9%

## 補足資料

## 2020年度 第4四半期（1－3月期）業績

# 2020年度第4四半期 連結業績概要



事業セグメント利益は増益も、一時費用の計上により  
営業利益以下は大幅な赤字となる

単位：億円

	19Q4	20Q4	増減	増減率 ( )は為替影響 除く増減率
売上収益	1,524	<b>1,643</b>	119	7.8% (+6.7%)
事業セグメント利益	124	<b>147</b>	23	18.4%
事業セグメント利益率	8.2%	<b>9.0%</b>		
その他の収益・費用	-5	<b>-348</b>	-343	
営業利益	119	<b>-201</b>	-320	-268.9%
営業利益率	7.8%	<b>-12.2%</b>		
税引前利益	114	<b>-201</b>	-315	-276.3%
親会社の所有者に帰属する四半期利益	80	<b>-230</b>	-310	-387.6%
USD	109.22	<b>106.24</b>		
EUR	120.68	<b>128.10</b>		

# 2020年度第4四半期 事業セグメント別実績



単位：億円

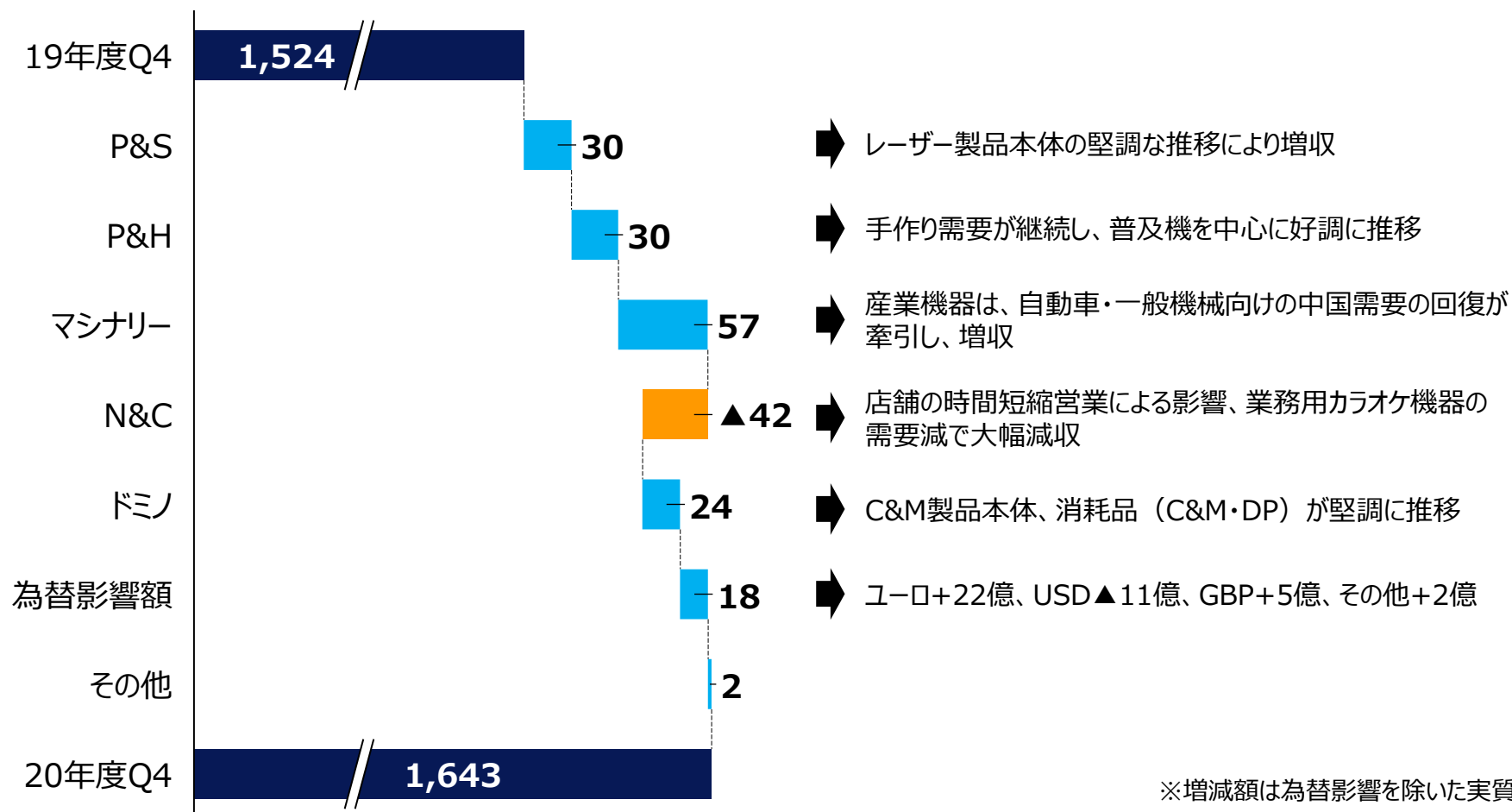
		19Q4	20Q4	増減
プリンティング&ソリューションズ	売上収益	935	976	41
	事業セグメント利益	113	126	13
	営業利益	109	80	-29
パーソナル&ホーム	売上収益	94	123	29
	事業セグメント利益	8	16	9
	営業利益	7	16	9
マシナリー	売上収益	169	229	60
	事業セグメント利益	-9	12	22
	営業利益	-10	15	25
ネットワーク&コンテンツ	売上収益	114	73	-42
	事業セグメント利益	1	-18	-20
	営業利益	-1	-45	-44
ドミノ	売上収益	168	196	28
	事業セグメント利益	11	15	4
	営業利益	13	-264	-277
その他	売上収益	44	46	2
	事業セグメント利益	1	-4	-6
	営業利益	2	-4	-6
合計	売上収益	1,524	1,643	119
	事業セグメント利益	124	147	23
	営業利益	119	-201	-320

※セグメント間取引消去額は含めておりません。

# 2020年度第4四半期 売上収益の増減要因

N&C事業の落ち込みをマシナリーを中心とした他事業が補い、増収となる

単位：億円

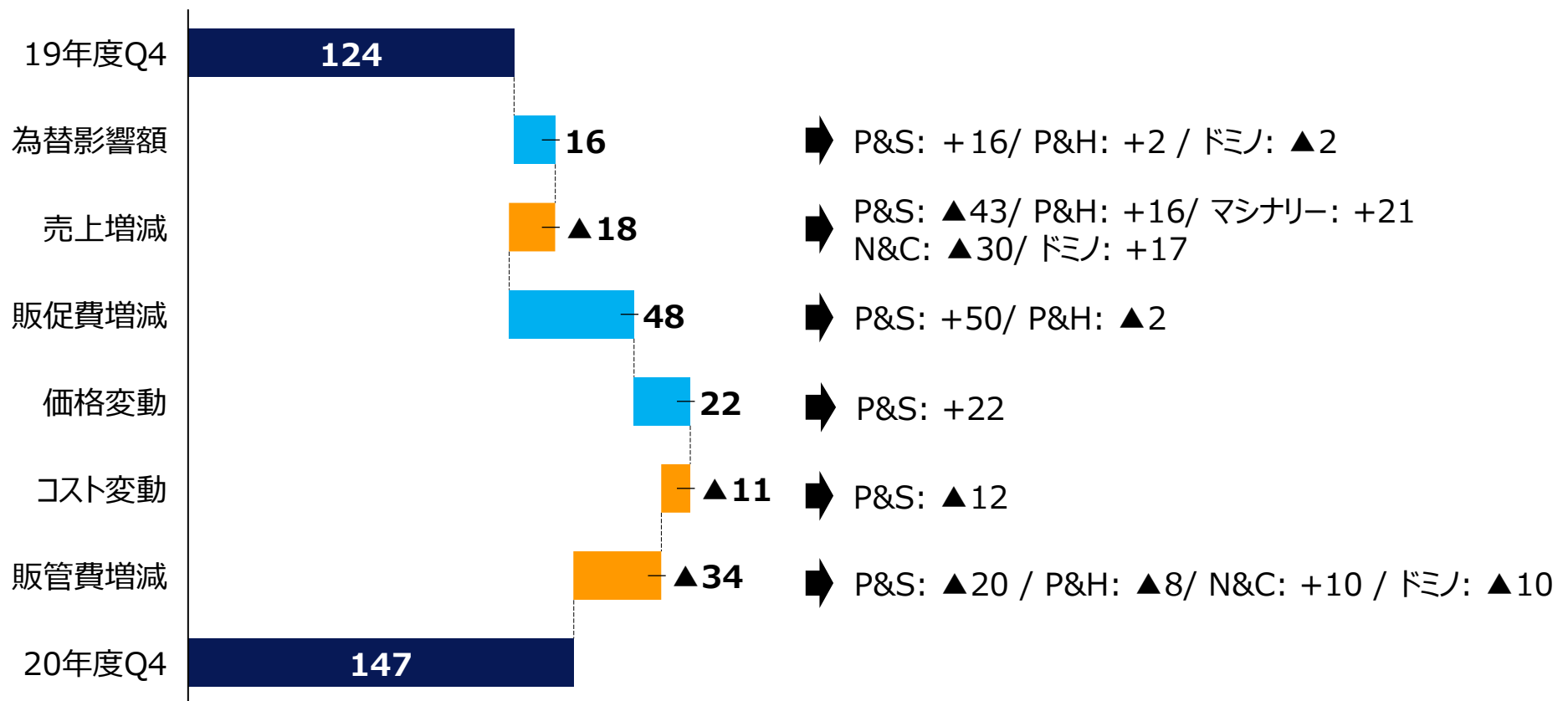


※増減額は為替影響を除いた実質ベース

# 2020年度第4四半期 事業セグメント利益の増減要因

主にP&H事業、マシナリー事業（産業機器）における粗利増に加えて  
主にP&S事業の販促費の抑制効果もあり、増益となる

単位：億円



財務の状況 / キャッシュフロー /  
設備投資 / 償却費 / 研究開発費

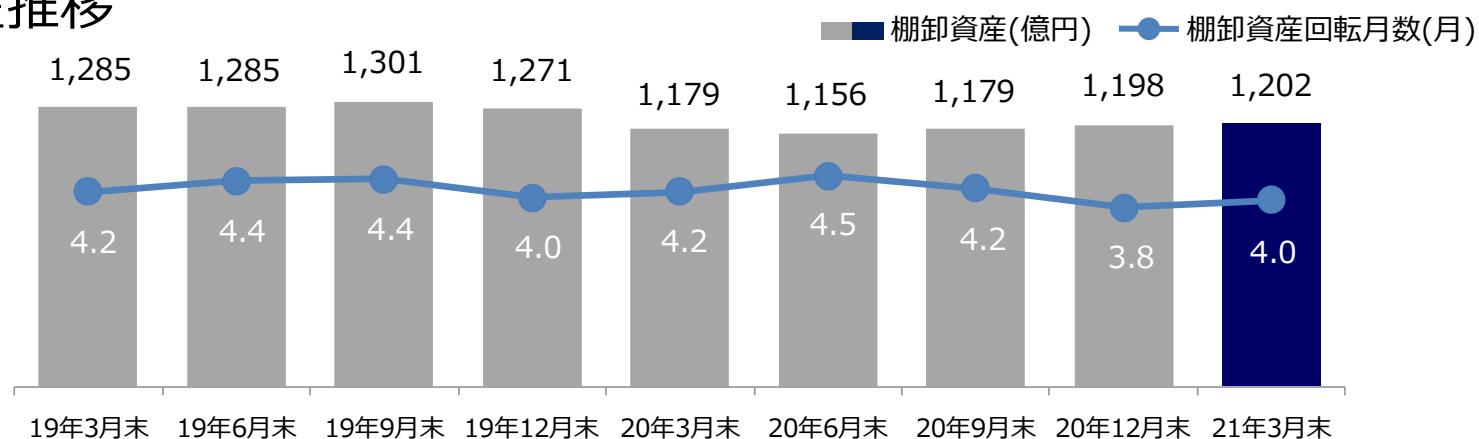


# 財務の状況

単位：億円

	19年度末	20年度末	増減	
流動資産	4,088	<b>4,288</b>	200	<b>ネット・キャッシュ</b> 19年度末 : +614億円 20年度末 : +1,335億円
現預金	1,684	<b>1,910</b>	226	
棚卸資産	1,179	<b>1,202</b>	23	
非流動資産	3,227	<b>3,151</b>	-75	
負債合計	2,863	<b>2,442</b>	-421	<b>株主資本比率</b> 19年度末 : 58.6% 20年度末 : 64.9%
有利子負債	1,070	<b>575</b>	-496	
株主資本	4,285	<b>4,831</b>	545	
総資産	7,315	<b>7,439</b>	124	

## 棚卸資産推移

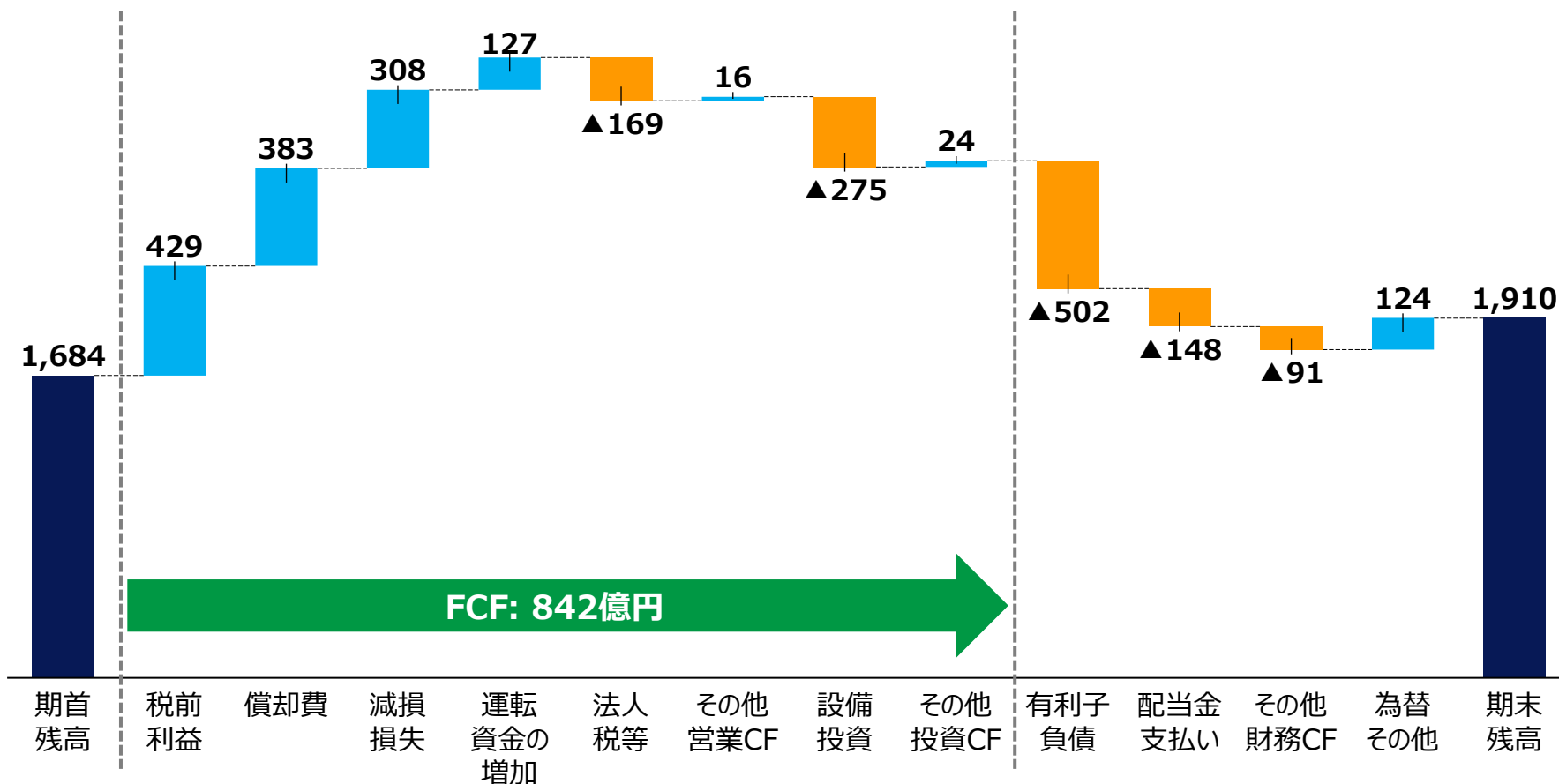


※棚卸資産回転月数 = 棚卸資産 ÷ (1ヶ月平均売上原価)

# キャッシュフロー分析

単位：億円

20年度は842億円のフリーキャッシュフローを創出

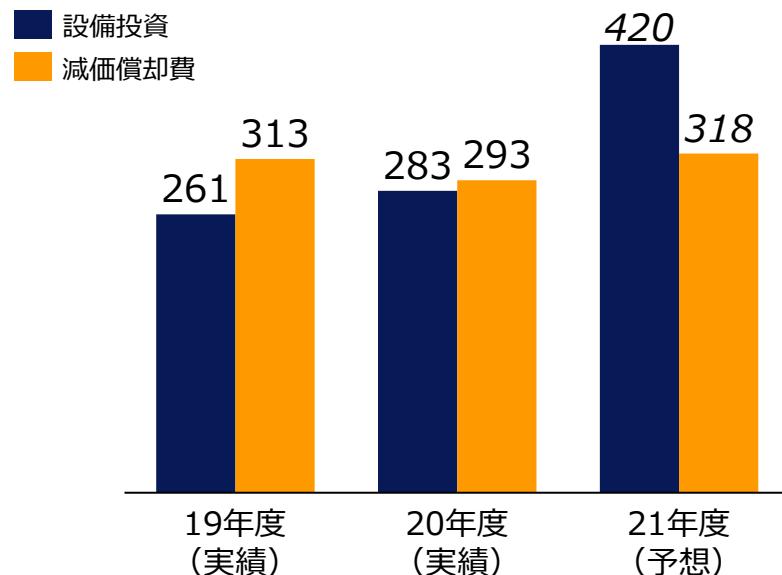


- ・償却費 減価償却費及び償却費 IFRS16号（リースに関する基準）適用に伴う 使用权資産の償却費 90億円を含む
- ・運転資金の増減 営業債権及びその他の債権の増減核+ 棚卸資産の増減額+ 営業債務及びその他の債務の増減額
- ・その他財務CF IFRS16号（リースに関する基準）の適用に伴いオンバランスとなった「リース債務」の返済額 88億円を含む

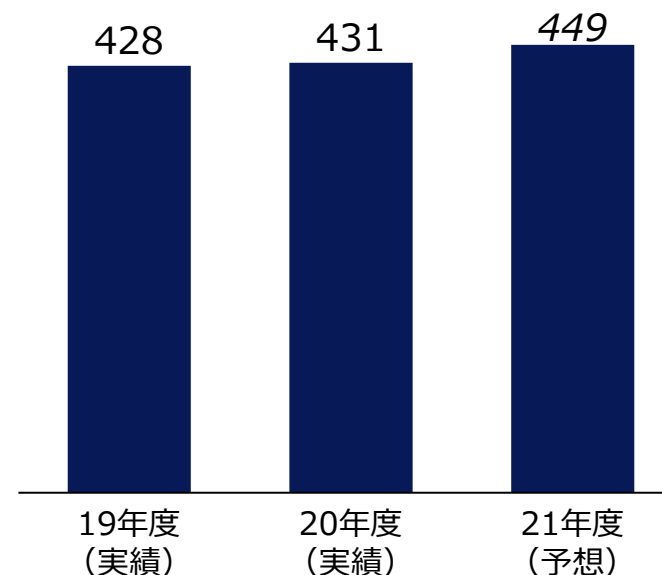
# 設備投資・減価償却費/研究開発費

単位：億円

## 設備投資・減価償却費



## 研究開発費



### 事業別設備投資内訳

	19年度	20年度	21年度
P&S	109	135	199
P&H	5	10	14
マシナリー	24	30	52
N&C	49	19	28
ドミノ	21	21	34
その他	52	67	93
計	261	283	420

### 事業別研究開発費内訳

	19年度	20年度	21年度
P&S	277	283	277
P&H	22	20	24
マシナリー	54	51	61
N&C	9	9	11
ドミノ	38	40	44
その他	29	28	33
計	428	431	449

## セグメント業績概要

※世界的な半導体不足や海上輸送の混乱をはじめとしたグローバルサプライチェーンに関連するリスクが顕在化しており、製品供給の遅延などによる影響について正確な数字が現段階で算出できていないため、地域別の売上予想およびP&S事業の製品別売上伸び率・構成比予想についての公表を見送ります。

# プリンティング&ソリューションズ事業 地域別売上収益・事業セグメント利益・営業利益

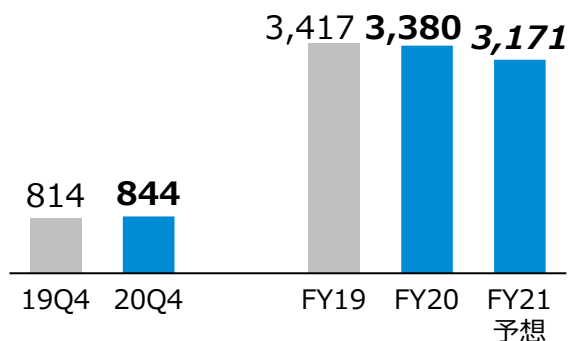


単位：億円

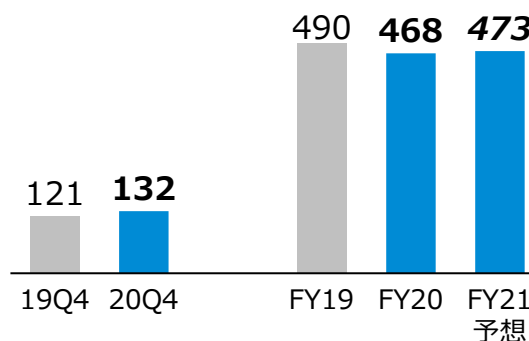
	19Q4	20Q4	増減率	為替影響 除く増減率	FY19	FY20	増減率	為替影響 除く増減率	FY21 予想	対前年 増減率
<b>売上収益</b>	<b>935</b>	<b>976</b>	<b>4.4%</b>	<b>3.2%</b>	<b>3,907</b>	<b>3,848</b>	<b>-1.5%</b>	<b>-0.1%</b>	<b>3,644</b>	<b>-5.3%</b>
<b>通信・プリンティング機器</b>	<b>814</b>	<b>844</b>	<b>3.7%</b>	<b>2.5%</b>	<b>3,417</b>	<b>3,380</b>	<b>-1.1%</b>	<b>0.3%</b>	<b>3,171</b>	<b>-6.2%</b>
米州	296	305	3.1%	6.5%	1,256	1,214	-3.4%	1.1%	-	-
欧州	303	307	1.2%	-3.9%	1,133	1,133	0.1%	-1.3%	-	-
アジア他	123	140	14.0%	10.2%	591	622	5.2%	6.6%	-	-
日本	92	92	0.4%	0.4%	437	410	-6.0%	-6.0%	-	-
<b>電子文具</b>	<b>121</b>	<b>132</b>	<b>9.0%</b>	<b>8.3%</b>	<b>490</b>	<b>468</b>	<b>-4.4%</b>	<b>-3.2%</b>	<b>473</b>	<b>1.0%</b>
米州	54	61	13.2%	17.0%	226	204	-9.7%	-6.0%	-	-
欧州	39	42	8.1%	2.1%	144	142	-1.8%	-4.1%	-	-
アジア他	13	15	14.8%	10.9%	72	70	-2.7%	-1.5%	-	-
日本	15	14	-8.9%	-8.9%	47	52	10.2%	10.2%	-	-
<b>事業セグメント利益</b>	<b>113</b>	<b>126</b>	<b>11.2%</b>	<b>-</b>	<b>571</b>	<b>652</b>	<b>14.1%</b>	<b>-</b>	<b>435</b>	<b>-33.2%</b>
<b>営業利益</b>	<b>109</b>	<b>80</b>	<b>-26.3%</b>	<b>-</b>	<b>571</b>	<b>610</b>	<b>6.8%</b>	<b>-</b>	<b>439</b>	<b>-28.0%</b>

<売上収益>

通信・プリンティング機器

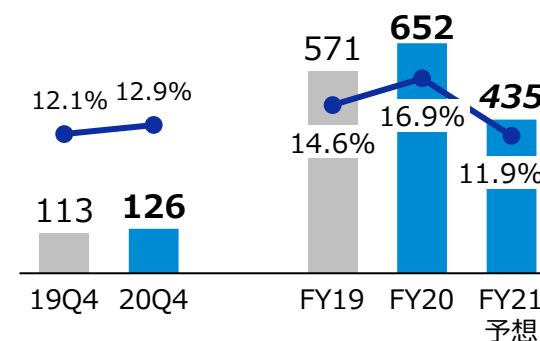


電子文具



<事業セグメント利益>

● 利益率



# プリンティング&ソリューションズ事業 主要製品別売上伸び率・構成比



	18Q1	18Q2	18Q3	18Q4	19Q1	19Q2	19Q3	19Q4	20Q1	20Q2	20Q3	20Q4	18通期	19通期	20通期
<b>LBP</b>															
<b>売上伸び率（円ベース/前年比）</b>															
本体	1%	-3%	-5%	-17%	-9%	-8%	-7%	-2%	6%	19%	18%	18%	-6%	-7%	15%
消耗品	1%	1%	-1%	-4%	2%	-6%	-2%	-3%	-18%	1%	0%	-1%	-1%	-2%	-5%
<b>売上伸び率（現地通貨ベース/前年比）</b>															
本体	2%	0%	-1%	-12%	-6%	-4%	-3%	2%	11%	22%	21%	18%	-2%	-3%	18%
消耗品	1%	3%	2%	-1%	4%	-1%	3%	0%	-15%	2%	2%	-3%	1%	1%	-4%
<b>IJP</b>															
<b>売上伸び率（円ベース/前年比）</b>															
本体	-6%	-6%	2%	-6%	-2%	8%	-7%	-3%	-37%	-49%	-12%	-3%	-4%	-1%	-25%
消耗品	1%	-1%	-3%	-5%	1%	-2%	-8%	4%	-23%	-1%	9%	-6%	-2%	-2%	-5%
<b>売上伸び率（現地通貨ベース/前年比）</b>															
本体	-3%	-2%	6%	-1%	1%	13%	-4%	0%	-33%	-48%	-9%	-3%	-1%	2%	-23%
消耗品	1%	1%	0%	-2%	3%	3%	-5%	7%	-20%	-1%	10%	-8%	0%	2%	-5%
<b>消耗品比率</b>															
	58%	58%	57%	61%	60%	58%	57%	59%	55%	57%	55%	56%	58%	58%	55%
<b>販売台数伸び率（実績のみ/前年比）</b>															
LBP	-1%	-8%	-7%	-16%	-13%	-4%	-2%	3%	12%	10%	6%	0%	-8%	-5%	7%
IJP	-1%	-2%	-1%	-4%	0%	13%	1%	7%	-39%	-57%	-24%	-25%	-2%	5%	-36%

# パーソナル&ホーム事業

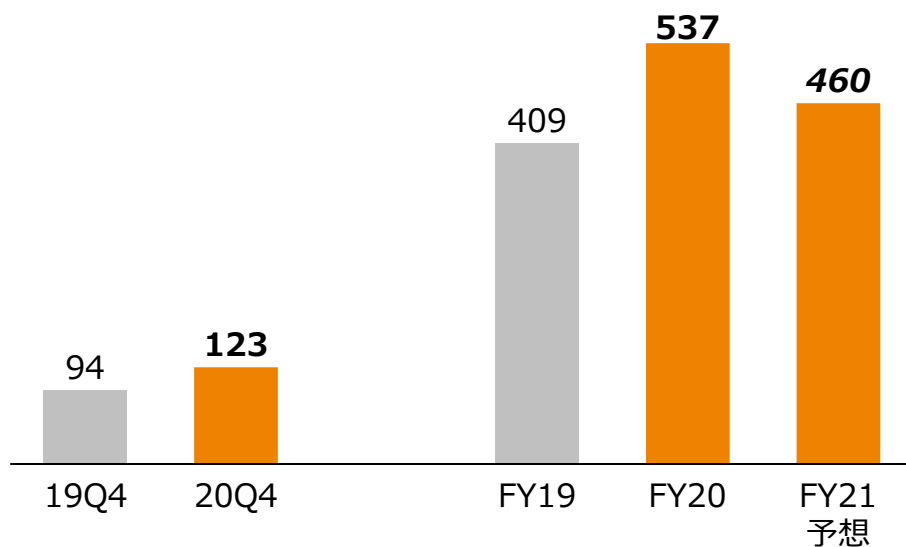
## 地域別売上収益・事業セグメント利益・営業利益



単位：億円

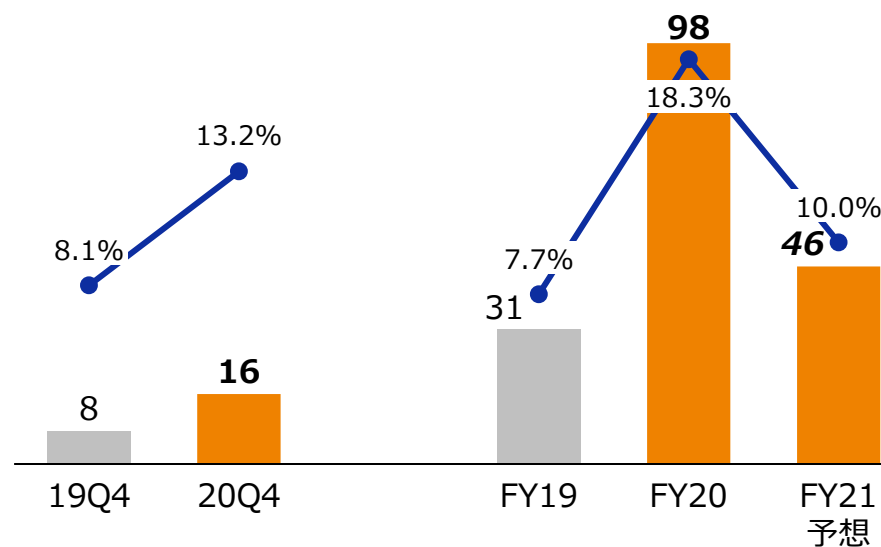
	19Q4	20Q4	増減率	為替影響 除く増減率	FY19	FY20	増減率	為替影響 除く増減率	FY21 予想	対前年 増減率
<b>売上収益</b>	<b>94</b>	<b>123</b>	<b>31.4%</b>	<b>31.7%</b>	<b>409</b>	<b>537</b>	<b>31.3%</b>	<b>34.2%</b>	<b>460</b>	<b>-14.3%</b>
米州	45	64	40.7%	46.3%	223	273	22.5%	29.0%	-	-
欧州	27	36	31.5%	23.9%	108	160	48.4%	45.0%	-	-
アジア他	11	12	13.9%	11.8%	46	56	20.3%	22.3%	-	-
日本	11	12	8.9%	8.9%	32	48	52.0%	52.0%	-	-
<b>事業セグメント利益</b>	<b>8</b>	<b>16</b>	<b>115.2%</b>	<b>-</b>	<b>31</b>	<b>98</b>	<b>213.3%</b>	<b>-</b>	<b>46</b>	<b>-53.1%</b>
<b>営業利益</b>	<b>7</b>	<b>16</b>	<b>130.3%</b>	<b>-</b>	<b>32</b>	<b>96</b>	<b>203.7%</b>	<b>-</b>	<b>47</b>	<b>-51.3%</b>

<売上収益>



<事業セグメント利益>

● 利益率



# マシナリー事業

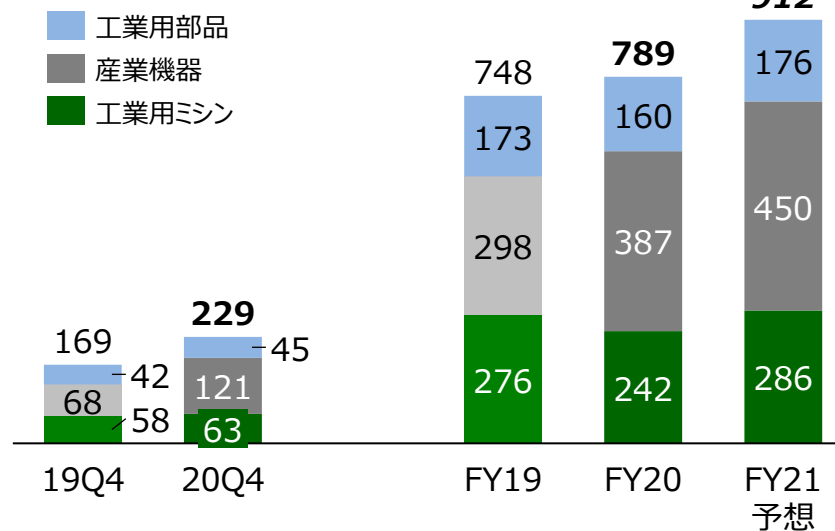
## 売上収益・事業セグメント利益・営業利益



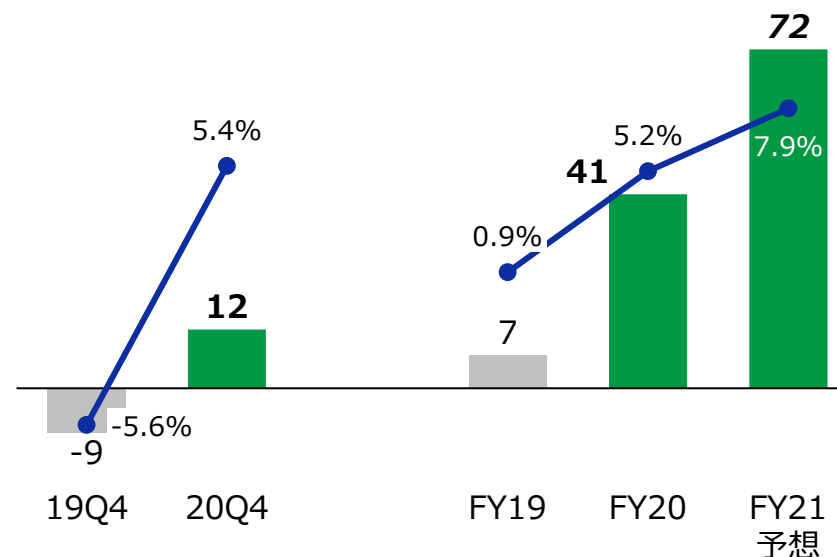
単位：億円

	19Q4	20Q4	増減率	為替影響 除く増減率	FY19	FY20	増減率	為替影響 除く増減率	FY21 予想	対前年 増減率
売上収益	169	229	35.6%	33.7%	748	789	5.5%	5.7%	912	15.6%
工業用マシン	58	63	8.5%	7.4%	276	242	-12.6%	-11.9%	286	18.4%
産業機器	68	121	76.7%	73.2%	298	387	29.8%	29.6%	450	16.2%
工業用部品	42	45	6.5%	6.3%	173	160	-7.5%	-7.1%	176	9.7%
事業セグメント利益	-9	12	-	-	7	41	493.4%	-	72	74.7%
営業利益	-10	15	-	-	6	33	439.2%	-	72	117.9%

<売上収益>



<事業セグメント利益> ● 利益率





# マシナリー事業 地域別売上収益

brother  
at your side

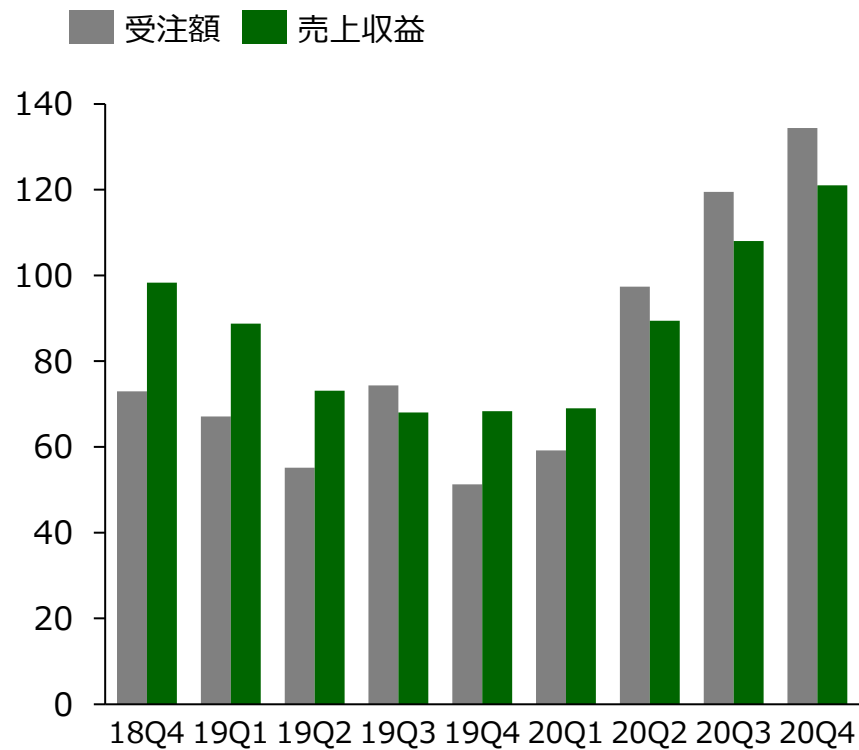
単位：億円

	19Q4	20Q4	増減率	為替影響 除く増減率	FY19	FY20	増減率	為替影響 除く増減率	FY21予想	対前年 増減率
<b>売上収益</b>	<b>169</b>	<b>229</b>	<b>35.6%</b>	<b>33.7%</b>	<b>748</b>	<b>789</b>	<b>5.5%</b>	<b>5.7%</b>	<b>912</b>	<b>15.6%</b>
<b>工業用マシン</b>	<b>58</b>	<b>63</b>	<b>8.5%</b>	<b>7.4%</b>	<b>276</b>	<b>242</b>	<b>-12.6%</b>	<b>-11.9%</b>	<b>286</b>	<b>18.4%</b>
米州	14	17	29.0%	32.5%	70	87	23.3%	26.8%	-	-
欧州	17	14	-18.3%	-22.9%	68	56	-17.9%	-19.7%	-	-
アジア他	26	29	11.7%	10.3%	129	88	-32.2%	-31.7%	-	-
日本	2	3	51.0%	51.0%	9	12	25.9%	25.9%	-	-
<b>産業機器</b>	<b>68</b>	<b>121</b>	<b>76.7%</b>	<b>73.2%</b>	<b>298</b>	<b>387</b>	<b>29.8%</b>	<b>29.6%</b>	<b>450</b>	<b>16.2%</b>
米州	6	7	9.9%	-	20	20	-2.9%	-	-	-
欧州	4	6	49.4%	-	21	19	-10.8%	-	-	-
アジア他	40	88	116.5%	-	168	289	72.6%	-	-	-
日本	18	20	15.7%	-	89	59	-33.7%	-	-	-
<b>工業用部品</b>	<b>42</b>	<b>45</b>	<b>6.5%</b>	<b>6.3%</b>	<b>173</b>	<b>160</b>	<b>-7.5%</b>	<b>-7.1%</b>	<b>176</b>	<b>9.7%</b>
米州	5	5	-7.3%	-4.7%	23	21	-10.2%	-7.6%	-	-
欧州	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
アジア他	4	5	36.2%	30.4%	18	20	8.0%	8.3%	-	-
日本	33	35	5.3%	5.3%	132	120	-9.1%	-9.1%	-	-

# マシナリー事業（産業機器） 受注額の推移

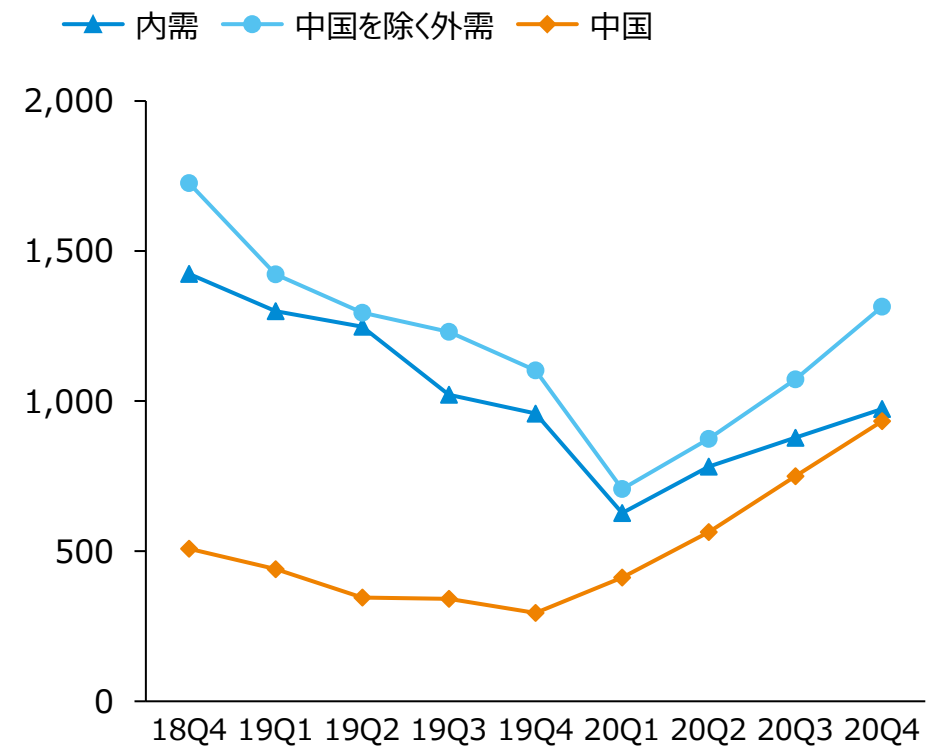
単位：億円

## 受注額・売上収益の推移



※国内・海外の製品本体の受注額合計  
海外受注額は各四半期の為替レートにて円換算

## (参考) 日工会受注統計



※出所：（一社）日本工作機械工業会 工作機械主要統計より

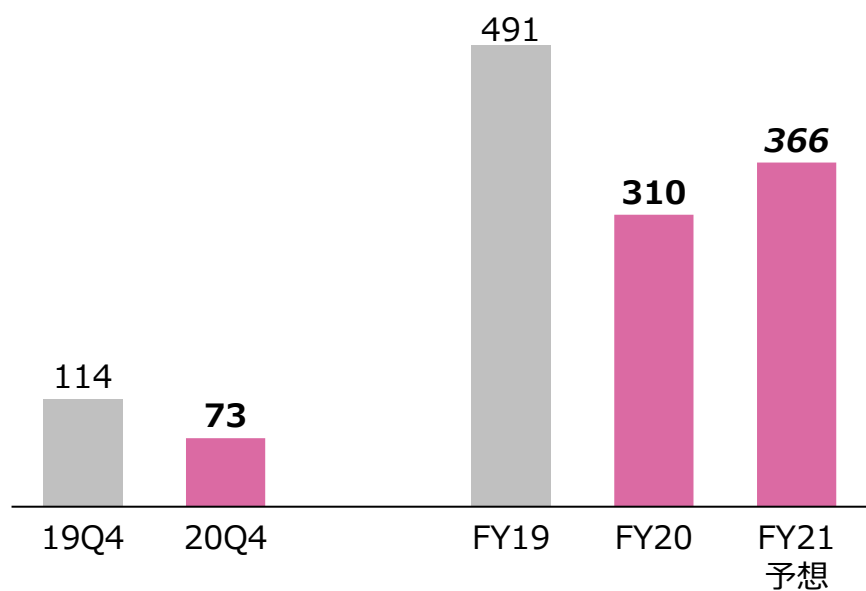
# ネットワーク&コンテンツ事業 売上収益・事業セグメント利益・営業利益



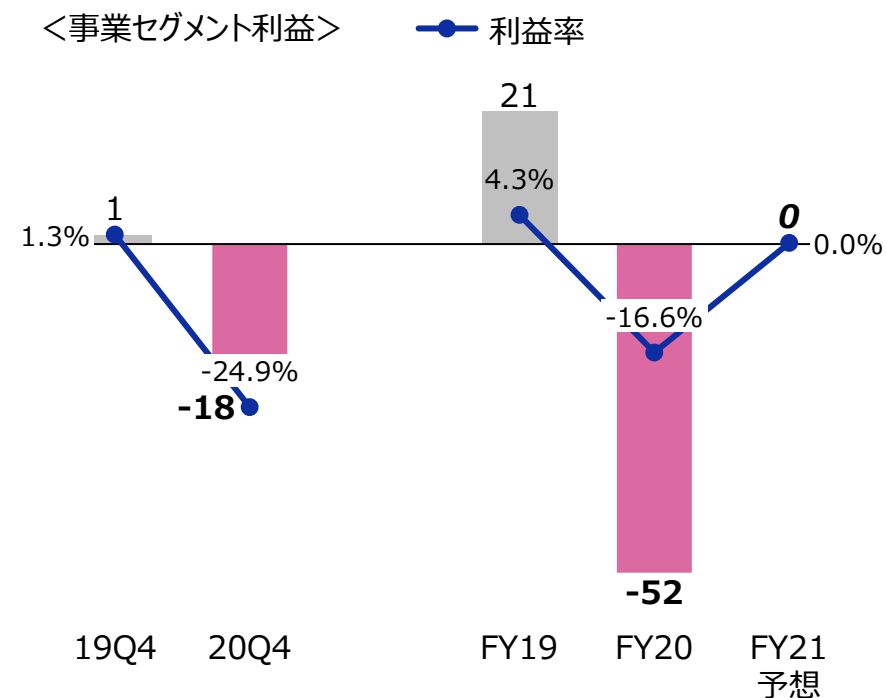
単位：億円

	19Q4	20Q4	増減率	FY19	FY20	増減率	FY21 予想	対前年 増減率
売上収益	114	73	-36.3%	491	310	-36.8%	366	17.9%
事業セグメント利益	1	-18	-	21	-52	-	0	-
営業利益	-1	-45	-	19	-73	-	-1	-

<売上収益>



<事業セグメント利益>



# ネットワーク&コンテンツ事業 2020年度 実績・2021年度 通期見通し



## 2020年度 実績

**業務用カラオケ**  
19年度比  
約25%減収

- ・営業自粛に伴う売上減、カラオケ需要の低迷による機器販売減などにより、約25%の減収
- ・カラオケ機器の稼働台数は、対19年度比で約15%減

**直営店舗**  
19年度比  
約65%減収

- ・緊急事態宣言による全店の一時休業や、短時間営業要請への対応などにより約65%の大幅減収
- ・感染予防を徹底して店舗運営するも、客足のもどりは低調に推移
- ・店舗営業継続の基準を設け、不採算店舗については基準に照らして閉店を実施  
(店舗数 2020年3月末：124店→2021年3月末：89店)

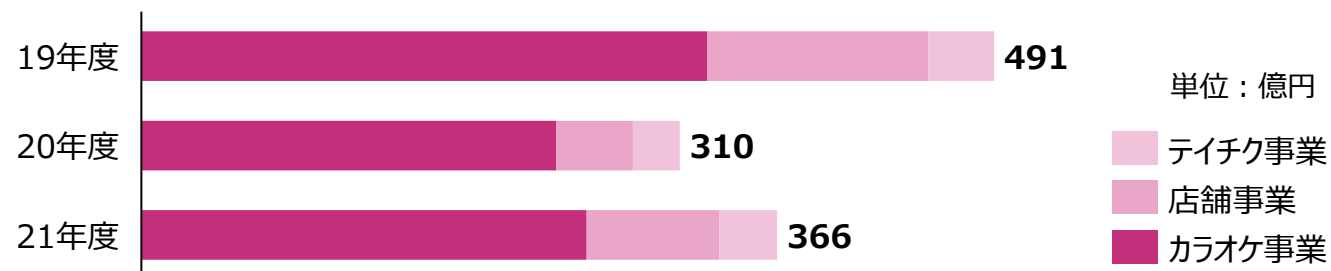
## 2021年度 通期見通し

**業務用カラオケ**  
19年度比  
約20%  
減収見込み

- ・21年度期末までに、売上は、対19年度比で80%程度までの回復を想定
- ・カラオケ機器の稼働台数は、対19年度比で90%程度で推移すると想定

**直営店舗**  
19年度比  
約40%  
減収見込み

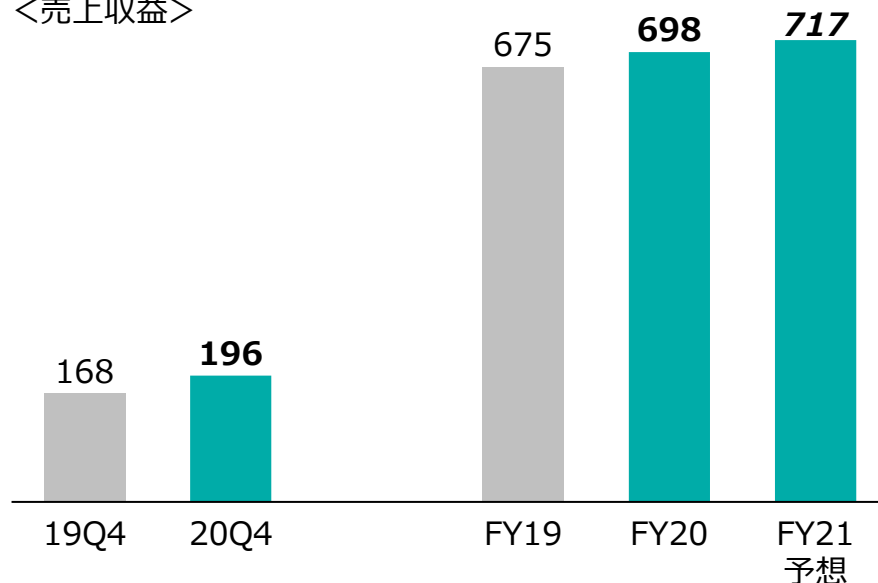
- ・21年度は、Q2以降から市場は緩やかに回復し、店舗売上は、対19年度比で60%程度までの回復を想定



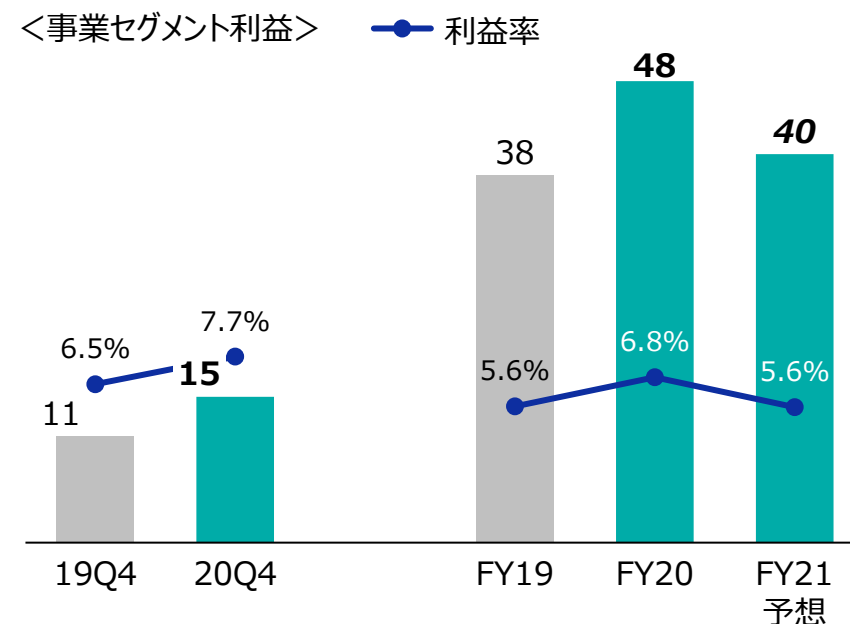
単位：億円

	19Q4	20Q4	増減率	為替影響 除く増減率	FY19	FY20	増減率	為替影響 除く増減率	FY21 予想	対前年 増減率
	<b>売上収益</b>	<b>168</b>	<b>196</b>	<b>16.8%</b>	<b>14.3%</b>	<b>675</b>	<b>698</b>	<b>3.4%</b>	<b>4.0%</b>	<b>717</b>
米州	41	45	10.3%	22.3%	165	176	7.0%	13.5%	-	-
欧州	86	99	14.7%	4.9%	329	324	-1.5%	-4.1%	-	-
アジア他	40	52	28.0%	26.3%	182	198	8.9%	10.2%	-	-
<b>事業セグメント利益</b>	<b>11</b>	<b>15</b>	<b>37.3%</b>	-	<b>38</b>	<b>48</b>	<b>25.5%</b>	-	<b>40</b>	<b>-15.8%</b>
<b>営業利益</b>	<b>13</b>	<b>-264</b>	-	-	<b>39</b>	<b>-239</b>	-	-	<b>38</b>	-

<売上収益>



<事業セグメント利益>



**brother**  
at your side